

1

沿革

- | | |
|---|---|
| <p>昭和26年 7月 予防、環境及び薬務の3課に属していた各試験室を統合し、大分県衛生研究所として発足した。</p> <p>昭和28年 8月 大分市寿町に独立した新庁舎が完成した。</p> <p>昭和29年10月 組織改正により庶務及び試験検査2係制となった。</p> <p>昭和33年 4月 組織改正により化学試験及び細菌検査の2課制となった。</p> <p>昭和41年 4月 組織改正により庶務、化学試験及び細菌検査の3課制となった。</p> <p>昭和45年 4月 組織改正により化学試験課及び細菌検査課がそれぞれ部に昇格した。</p> <p>昭和45年 7月 大分市大字曲 芳河原団地に新庁舎が完成した。</p> <p>昭和46年 5月 機構改革により大分県衛生研究所に公害検査部を新設し、1課3部制となった。また、県下の試験研究機関が、公害に関して有機的連携が図られるよう機構が改められ、大分県公害センターが発足し、6部制となり、各試験研究機関の専門者が部長兼務として発令された。</p> <p>昭和48年 3月 大分市大字曲 芳河原団地に公害センター庁舎が完成した。</p> <p>昭和48年 4月 機構改革により10部1課制となり、大分県公害衛生センターとして発足した。</p> | <p>昭和52年 4月 組織改正により細菌部が微生物部となった。</p> <p>昭和62年 5月 組織改正により化学部に理化学科と食品衛生科、微生物部に細菌科とウイルス科、大気部に大気科と情報調査科、水質部に水質科と環境生物科を新設して、10部1課8科制となった。</p> <p>平成3年 5月 衛生環境研究センターに名称が改められ、組織改正により5部及び全科が廃止され、管理部が管理情報部となり、管理課及び企画情報課を設け、技術部門の化学部、微生物部、大気部及び水質部と併せて5部2課制となった。</p> <p>平成12年 3月 特定化学物質分析棟が完成した。</p> <p>平成12年 4月 組織改正により管理情報部が管理部となり、企画情報課が廃止され、新たに企画・特定化学物質部を設け、6部1課制となった。</p> <p>平成14年 4月 組織改正により管理課が廃止され、6部制となった。</p> <p>平成15年 3月 大分市高江西2丁目8番に新庁舎が完成し、芳河原団地から移転した。</p> <p>平成18年 4月 組織改正により6部制が廃止され、企画・管理担当、化学担当、微生物担当、大気・特定化学物質担当及び水質担当の5担当制となった。</p> |
|---|---|

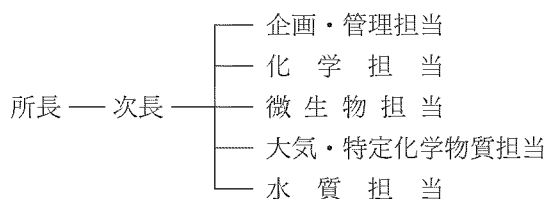
2

組織及び分掌事務

(1) 組織

組織

平成26年4月1日現在



(2) 分掌事務

○企画・管理担当

- 1 公印の管守に関する事
- 2 文書の収受、発送、編集及び保存に関する事
- 3 職員の身分及び服務に関する事
- 4 庁舎の維持及び管理に関する事
- 5 予算の執行に関する事
- 6 現金、有価証券及び物品の出納命令に関する事

- 7 諸収入の徴収に関すること
- 8 県有財産の維持及び管理に関すること
- 9 衛生及び環境情報の収集及び解析に関すること
- 10 検査及び分析並びに調査研究の調整に関すること
- 11 衛生及び環境教育の技術指導の企画並びに調整に関すること
- 12 研修指導並びに精度管理の企画並びに調整に関すること
- 13 衛生及び環境に係る広報に関すること
- 14 その他、他の担当の所掌に属しないこと

○化学担当

- 1 医薬品、毒物、劇物等の試験検査に関すること
- 2 食品衛生及び環境衛生の試験検査に関すること
- 3 衛生化学に係る調査研究に関すること
- 4 食品衛生検査等に係る業務管理に関すること
- 5 衛生化学的試験検査技術の研修及び指導並びに精度管理に関すること

○微生物担当

- 1 病原微生物の試験検査に関すること
- 2 血清学的検査に関すること
- 3 感染症に係る疫学的試験検査に関すること
- 4 食品衛生及び環境衛生に係る微生物学的検査に関すること
- 5 微生物学に係る調査研究に関すること
- 6 食品衛生検査等に係る業務管理に関すること

- 7 微生物学的試験検査技術の研修及び指導並びに精度管理に関すること

○大気・特定化学物質担当

- 1 ばい煙及び粉じんの分析及び解析に関すること
- 2 環境大気の測定、分析及び解析に関すること
- 3 ばい煙発生施設における排ガス並びに燃料の測定及び解析に関すること
- 4 悪臭物質の測定、分析及び解析に関すること
- 5 環境放射能の測定、分析及び解析に関すること
- 6 大気汚染に係る環境の常時監視に関すること
- 7 特定化学物質の分析及び解析に関すること
- 8 大気汚染及び特定化学物質に係る調査研究に関すること
- 9 大気汚染及び特定化学物質の試験検査技術の研修及び指導並びに精度管理に関すること

○水質担当

- 1 公共用水域の水質の分析及び解析に関すること
- 2 工場排水等の水質の分析及び解析に関すること
- 3 水質に係る有害物質の分析に関すること
- 4 水質の生物学的検査に関すること
- 5 汚泥、底質等の調査及び分析に関すること
- 6 廃棄物に係る有害物質の分析に関すること
- 7 温泉の分析に関すること
- 8 水質汚濁に係る調査研究に関すること
- 9 水質環境の試験検査技術の研修及び指導並びに精度管理に関すること

3 職員

職員配置表

平成26年5月1日現在

組織別	種別	事務吏員	技術吏員	非常勤嘱託	臨時職員	計	備考
	所長			1			1
次長		1				1	
企画・管理担当		4		2	1	7	
化学担当			6	1	1	8	
微生物担当			7	1		8	
大気・特定化学物質担当			6	1	1	8	
水質担当			6	1	1	8	
計		5	26	6	4	41	

4

施設

○所在地

大分市高江西2丁目8番

○敷地面積

13,238.82㎡

○建物構造面積

①研究棟

鉄筋コンクリート3階建

面積 2,284.91㎡ (延面積5,255.35㎡)

②附属棟

設備棟、車庫、倉庫等

延床面積(合計) 367.54㎡

○完工期日

平成15年2月10日

○工事費総額

2,038,190千円

5

経理執行の状況

(1) 平成25年度歳入調書

(単位：円)

科 目	調定額	収入済額	収入未済額
(款) 使用料及手数料	162,892	162,892	0
(項) 使 用 料	73,112	73,112	0
(目) 総務使用料	73,112	73,112	0
(節) 庁舎等使用料	73,112	73,112	0
(項) 手 数 料	89,780	89,780	0
(目) 保健環境手数料	0	0	0
(節) 衛生免許試験その他手数料	0	0	0
(目) 証紙収入	89,780	89,780	0
(節) 証紙収入	89,780	89,780	0
(款) 財 産 収 入	0	0	0
(項) 財産売払収入	0	0	0
(目) 物品売払収入	0	0	0
(節) 物品売払収入	0	0	0
(款) 諸 収 入	1,095,953	1,095,953	0
(項) 受託事業収入	953,530	953,530	0
(目) その他受託事業収入	953,530	953,530	0
(節) 水質分析調査事業分	495,280	495,280	0
(節) 衛生試験検査事業分	458,250	458,250	0
(項) 雑 入	142,423	142,423	0
(目) 雑 入	142,423	142,423	0
(節) 健康対策課所属	0	0	0
(節) 環境保全課所属	7,256	7,256	0
(節) 生活環境企画課所属	135,167	135,167	0
合 計	1,258,845	1,258,845	0

(2) 平成25年度歳出調書

節	予算主務課	人 事 課		福祉保健 企画課	健康対策課	医療政策課	生活環境企画課		
	目名	職員厚生費	人事管理費	社会福祉 総務費	予防費	薬務費	温泉費	センター費	公害対策費
報	酬	268,800						14,031,300	
共	済							3,329,000	218
賃	金							6,009,655	
報	償							43,000	
旅	費		80,260		350,000	120,000	14,000	3,050,046	
交	際								
需	用	264,300	6,000	35,332	8,560,045	96,000	393,000	22,497,674	
	食糧費							40,500	
	その他需用費	264,300	6,000	35,332	8,560,045	96,000	393,000	22,457,174	
役	務				84,716		5,000	1,459,396	
委	託							14,303,349	
使用料及賃借料							5,000	38,000	55,050
工 事 請 負 費									
備 品 購 入 費								16,173,000	
負担金補助及交付金								356,950	
公 課 費								50,800	
合	計	533,100	86,260	35,332	8,994,761	216,000	417,000	81,342,170	55,268
予算執行の状況	令達予算額	533,100	86,260	35,332	8,994,761	216,000	417,000	81,342,170	55,268
	支出済額	533,100	86,260	35,332	8,994,761	216,000	417,000	81,342,170	55,268
	予算残額	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位：円)

環境保全課	廃棄物 対策課	食品安全・衛生課		漁業管理課	全国高校総体 推進局	計
公害対策費	環境整備 指導費	食品衛生 指導費	環境衛生 監視費	水産振興費	体育振興費	
						14,300,100
230,748						3,559,966
1,451,164						7,460,819
						43,000
1,004,490	51,000	419,710	52,820	60,000	2,360	5,204,686
						0
25,251,235	6,149,677	11,064,324		247,600	0	74,565,187
						40,500
25,251,235	6,149,677	11,064,324		247,600		74,524,687
347,439				9,600		1,906,151
22,819,965		5,147,310				42,270,624
165,356						263,406
						0
6,825,735	182,910					23,181,645
						356,950
						50,800
58,096,132	6,383,587	16,631,344	52,820	317,200	2,360	173,163,334
58,096,132	6,383,587	16,631,344	52,820	317,200	2,360	173,163,334
58,096,132	6,383,587	16,631,344	52,820	317,200	2,360	173,163,334
0	0	0	0	0	0	0

6

主要機器

(1) 化学担当

品 目	取得年月日	メーカー	型 式	備 考
固相抽出システム	H 6. 6. 10	日本ミリポア	S.P.C.CONT	
ガスクロマトグラフ	H 8. 11. 27	ヒューレットパッカード社	HP-6890	NPD,FID
ガスクロマトグラフ質量分析装置	H 9. 2. 24	ヒューレットパッカード社	HP6890 MSD	
ガスクロマトグラフ	H14. 2. 19	(株)島津製作所	GC-2010	FPD,FTD
高速液体クロマトグラフ質量分析装置	H15. 3. 16	アプライドバイオシステムズ社	API-2000	
超高速冷却遠心機	H15. 3. 25	KOKUSAN	H-9R	
質量検出器(MS分析計)	H17. 2. 1	日本ウォーターズ(株)	ZQ2000	
ガスクロマトグラフ質量分析計	H18. 2. 10	アジレントテクノロジー	Agilent 5975 inert MSD	
高速液体クロマトグラフ装置(MS/MS-PDA)	H21. 9. 7	アジレントテクノロジー	HPLC1200 MS/MS6460A	MS/MS,PDA
超純水製造装置	H21. 11. 30	ヤマト科学	オートピュアWR700	
有機化合物クリーンアップGPCシステム	H21. 12. 18	ジーエルサイエンス(株)	G-PREF GPC8100single	
分光光度計	H24. 9. 19	(株)日立ハイテクノロジーズ	U-2900	オートシッパ
純水製造装置一式	H24. 9. 20	メルク株式会社	Elix Advantage 15	100L

(2) 微生物担当

品 目	取得年月日	メーカー	型 式	備 考
万能写真顕微鏡	S 61. 9. 1	日本光学工業	MICROPHOT-FX-2	
バイオハザード対策システム	S 63. 3. 28	新興精機	特注	P3
パルスフィールド泳動装置	H10. 3. 31	日本バイオラッドボラトリズ	CHEF-DRIIIチラーシステム	
蛍光微分干渉顕微鏡	H10. 9. 1	(株)ニコン	E8-FL-DIC	
遺伝子増幅装置	H12. 8. 2	MJ RESEARCH	RCT-225DNAエンジソントラック	
電子顕微鏡	H15. 3. 27	日本電子	JEM-1230,JSM-6360LV	
リアルタイムPCR装置	H17. 12. 26	ロッシュ・ダイアグノスティックス	Light Cycler DX400	
遺伝子取り込み・解析装置	H19. 11. 26	バイオ・ラッドボラトリーズ(株)	GelDocXR/WindowsP	
ジェネティックアナライザ	H20. 12. 25	アプライドバイオシステムズジャパン(株)	3130 xl-100	
遺伝子増幅装置	H21. 10. 1	日本バイオラッドボラトリズ	PTC-240	
パルスフィールド泳動装置	H21. 10. 1	日本バイオラッドボラトリズ	CHEF-DRIIIチラーシステム	
リアルタイムPCR装置	H21. 9. 24	アプライドバイオシステムズジャパン(株)	StepOnePlus-01	
超高速遠心機一式	H22. 3. 16	日立工機株式会社	CW80WX	

(3) 大気・特定化学物質担当

品目	取得年月日	メーカー	型式	備考
大気汚染観測用コンテナ	S 61. 8. 15	矢野特殊自動車	特注	別府青山中学校設置
位相差顕微鏡	S 63. 8. 8	カールツァイス	Axioskop40	デジタルカメラ付
硫黄分析計	H 2. 12. 5	理学電機工業(株)	サルファX	
校正用ガス調製装置	H10. 12. 2	電気化学計器(株)	CGS-12型	
マイクロウェーブ分解装置	H11. 3. 23	マイルストーン	ETOHOS1600	ICP-MS用試料分解、濃縮
自動ソックスレー抽出装置	H12. 2. 10	柴田科学(株)	B-811	3台
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	H12. 3. 15	日本電子(株)	JMS-700D	
大気汚染観測用コンテナ	H12. 3. 31		特注	西部振興局設置
電気炉	H15. 2. 28	アドバンテック東洋(株)	KM-1000S	原子力規制庁備品
自動ソックスレー抽出装置	H15. 6. 13	柴田科学(株)	B-811	
窒素酸化物測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GLN-254	津久見市役所設置
窒素酸化物測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GLN-254	白杵市役所設置
硫黄酸化物測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GFS-212J	大気環境測定車に搭載
一酸化炭素測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GIA-272H(S)	大気環境測定車に搭載
オキシダント測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GUX-213J	大気環境測定車に搭載
データ収録処理装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	DNS309(S)	大気環境測定車に搭載
浮遊粒子状物質測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	DUB-222	大気環境測定車に搭載
窒素酸化物測定装置	H16. 3. 12	東亜ディーケーケー(株)	GLN-214J	大気環境測定車に搭載
オキシダント測定装置	H18. 1. 25	東亜ディーケーケー(株)	GUX-253	日出町鷹匠設置
オキシダント測定装置	H18. 1. 25	東亜ディーケーケー(株)	GUX-253	西部振興局設置
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H18. 6. 30	東亜ディーケーケー(株)	GFS-256	西部振興局設置
窒素酸化物測定装置	H18. 12. 8	東亜ディーケーケー(株)	GLN-254	別府青山中学校設置
VOC分析用前処理装置	H19. 3. 16	エンテック社	7100A/4600A/3100A	
γ線核種分析ソフト及びデータ処理装置	H19. 9. 7	キャンベラジャパン(株)		原子力規制庁備品
窒素酸化物測定装置	H19. 10. 2	東亜ディーケーケー(株)	GLN-254	西部振興局設置
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H19. 10. 2	東亜ディーケーケー(株)	GFS-256	別府青山中学校設置
液体窒素蒸発防止装置	H19. 11. 30	キャンベラジャパン(株)	CA201	原子力規制庁備品
ガスクロマトグラフ質量分析装置	H19. 12. 28	アジレント・テクノロジー(株)	Agilent 5975C MSD	
ベータ線自動測定装置	H20. 10. 15	アロカ(株)	JDC-3201	原子力規制庁備品
オキシダント測定装置	H21. 3. 27	東亜ディーケーケー(株)	GUX-353	別府青山中学校設置
オキシダント測定装置	H21. 3. 27	東亜ディーケーケー(株)	GUX-353	中津総合庁舎設置
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H21. 3. 27	東亜ディーケーケー(株)	GFS-327	白杵市役所設置
窒素酸化物測定装置	H21. 3. 27	東亜ディーケーケー(株)	GLN-354	日出町鷹匠設置
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H21. 5. 29	東亜ディーケーケー(株)	GFS-312	豊肥保健所設置
窒素酸化物測定装置	H21. 5. 29	東亜ディーケーケー(株)	GLN-354	豊肥保健所設置
オキシダント測定装置	H21. 5. 29	東亜ディーケーケー(株)	GUX-313	豊肥保健所設置
モニタリングポスト	H21. 10. 1	アロカ(株)	MAR-22	原子力規制庁備品
ガスクロマトグラフ(悪臭等分析装置)	H21. 11. 27	アジレント・テクノロジー(株)	7890A	FPD,FID
オキシダント動的校正装置	H22. 1. 20	東亜ディーケーケー(株)	GUX-313,OZ-200	
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H22. 2. 10	東亜ディーケーケー(株)	GFS-327	南部振興局設置
オキシダント測定装置	H22. 3. 10	東亜ディーケーケー(株)	GUX-353	白杵市役所設置
γ線核種分析装置(Ge半導体検出器)	H23. 3. 25	キャンベラジャパン(株)	GC3018	原子力規制庁備品
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H23. 3. 31	東亜ディーケーケー(株)	GFS-327	日出町鷹匠設置
窒素酸化物測定装置	H23. 3. 31	東亜ディーケーケー(株)	GLN-354	中津総合庁舎設置
超純水製造装置	H23. 9. 28	アドバンテック東洋(株)	RFU665DA,RFP742HA	
オキシダント測定装置	H23. 10. 31	東亜ディーケーケー(株)	GUX-353	南部振興局設置
オキシダント測定装置	H23. 10. 31	東亜ディーケーケー(株)	GUX-353	津久見市役所設置
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H24. 3. 8	東亜ディーケーケー(株)	GFS-327	中津総合庁舎設置
γ線核種分析装置	H24. 3. 9	キャンベラジャパン(株)	GC3018	原子力規制庁備品
モニタリングポスト	H24. 3. 27	日立アロカメディカル(株)	MAR-22	原子力規制庁備品、4台
サーベメーター	H24. 3. 27	日立アロカメディカル(株)	TCS-171B	
気中水銀測定装置	H24. 9. 27	日本インスツルメンツ(株)	マーキュリー-WA-4	
硫黄酸化物・浮遊粒子状物質測定装置	H25. 2. 12	東亜ディーケーケー(株)	GFS-327	津久見市役所設置
窒素酸化物測定装置	H25. 2. 12	東亜ディーケーケー(株)	GLN-354	南部振興局設置
微小粒子状物質自動測定装置	H25. 2. 14	東亜ディーケーケー(株)	FPM-377-2	西部振興局設置
大気環境測定車「ほしぞら号」	H25. 3. 18	日野自動車		
微小粒子状物質自動測定装置	H25. 4. 25	紀本電子工業(株)	PM-712	南部振興局設置
微小粒子状物質自動測定装置(屋外設置型)	H25. 4. 25	紀本電子工業(株)	PM-712	中津総合庁舎設置
イオンクロマトグラフ	H25. 12. 24	日本ダイオネクス(株)	ICS-1600	

(4) 水質担当

品 目	取得年月日	メーカー	型 式	備 考
携帯型ラドン計	S 60. 8. 23	E D A 社	RD-200	
超音波ネブライザー	H 7. 9. 13	日本ジャーレルアッシュ(株)	U-5000AT	
元素分析計	H 7. 11. 21	ヤナコ分析工業(株)	MT-5	
水分析用自動固相抽出装置	H13. 1. 23	ジーエルサイエンス(株)	ASPE-599	
I C P 発光分光分析装置	H15. 12. 15	サーモエレクトロン(株)	IRIS Intrepid II XSP	
ガスクロマトグラフ質量分析計	H19. 3. 29	日本電子(株)	JMS-Q1000GC K9	ガス発生装置付き
原子吸光分析装置	H19. 3. 30	サーモエレクトロン(株)	SOLAAR S-2	水素化物発生装置付き
p H 等自動測定器	H19. 11. 13	東亜ディーケーケー(株)	MM-60R型他	多検体用、EC測定装置
還元気化水銀測定装置	H19. 11. 14	日本インスツルメント(株)	マーキュリーRA-3	
ガスクロマトグラフ質量分析計	H19. 11. 15	日本電子(株)	JMS-Q1000GC K9	
全有機炭素分析計	H20. 12. 9	(株)島津製作所	TOC-Vcsh	
ガスクロマトグラフ分析計	H20. 12. 15	アジレント・テクノロジー社	7890GC	E C D 検出器
水質自動分析計(オートアナライザー)	H21. 9. 30	ビーエルテック(株)	SWAAT,QuAAtro2-HR	分光光度計付き
I C P 質量分析装置	H22. 12. 22	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	Xシリーズ2	
イオンクロマトグラフ	H23. 11. 8	ダイオネクス(株)	ICS1600	
高速液体クロマトグラフ	H24. 10. 17	(株)島津製作所	Prominence LC-20AD	
冷却高速遠心機	H25. 11. 29	コクサン	H-2000B	
超純水・純水製造装置	H25. 11. 29	メルク(株)	Milli-Q Integral 10	

(1) 企画・管理担当

企画・管理担当は、予算執行等の管理的業務とともに、調査研究に関する総合調整及び評価、衛生及び環境教育の技術指導に関する企画・調整、衛生及び環境情報の収集及び解析、研修指導及び精度管理に関する企画・調整、衛生及び環境に係る広報等を主な業務としている。

これらの業務の概要は、次のとおりである。

ア 調査研究の調整及び評価

センターで実施する調査研究の総合調整をするとともに、提出された新規課題、継続課題、終了課題について、それぞれ評価要綱に基づき内部評価、外部評価を実施した。また終了課題について結果報告会を行った。

イ 環境・衛生教育

環境月間に地元の小学校3年生を対象に、実習や施設見学を通して環境や健康の大切さを学ぶ体験学習を行った。

また、各種団体からの依頼による体験学習や実技研修の受け入れも行った。

ウ 情報の整備

所内LANを構築し、同時に複数のクライアントからサーバ上のデータを利用することができるようになり、業務の効率化が図られている。

関係担当において、これまでに次のシステムを開発し、これらのシステムの改良やデータの更新等の運用・管理が行われている。

- ①温泉情報データベース
- ②公共用水域水質測定管理
- ③地下水水質測定管理
- ④大気常時測定結果管理
- ⑤酸性雨測定結果管理
- ⑥図書管理
- ⑦備品管理
- ⑧関係機関住所録
- ⑨公用車予約管理
- ⑩地方衛生研究所業績集検索
- ⑪会議室・分析機器の予約管理

エ 広報

広報誌「衛生環境研究センターだより」は、トピックスとして「SFTS－マダニが媒介する新しい感染症－」及び「PM2.5に関する情報」、調査研究の紹介として「大分県内で飼育された豚から検出した日本脳炎ウイルスの遺伝子解析」などの内容を掲載しており、県内各保健所、市町村等関係機関に配布した。

また、衛生環境研究センターのホームページを運営し、当センターの施設や業務の紹介、感染症情報等について情報提供している。また、調査研究の課題及び外部評価結果、研修指導など時期に応じて速やかに更新を行った。

(URL <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13002/>)

(2) 化学担当

化学担当は、食品衛生法、薬事法、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律などに基づく行政検査や依頼検査のほか、それぞれの分野に関連した調査研究、研修指導等を主たる業務としている。

これらの業務の概要は、次のとおりである。

ア 食品衛生に関する業務**(ア) 行政検査**

食品衛生法に基づき食品安全・衛生課が策定した大分県食品衛生監視指導計画により、県特産食品、県内広域に流通する食品、輸入食品を重点に、以下の項目について、県下5ブロックの食品衛生監視機動班が収去・搬入した食品及び食中毒、違反・苦情食品の検査を行う。

a 残留農薬

県産或いは輸入野菜・果物等に残留する農薬の検査を30検体で行った。また、一斉試験法の測定項目の拡大を随時検討し、現在では246項目318成分が測定可能である。

b 動物用医薬品（合成抗菌剤、抗生物質等）

市販されている食肉、鶏卵、養殖魚介類等に残留する合成抗菌剤及び抗生物質等の検査を99検体で行った。現在では93項目112成分が測定可能である。

c 食品添加物

市販されている県産の漬物等について、合成保存料（ソルビン酸、安息香酸等）や漂白剤、甘味料、発色剤の検査を60検体で行った。

d 特定原材料（アレルギー物質）検査

アレルギー物質7品目（乳、卵、小麦粉、そば、落花生、えび、かに）を使用している場合は、その旨を表示する義務がある。流通している食品で使用表示のない30検体について検査を行った

かまぼこの検査で1件の小麦混入違反事例があった。

（イ）委託業務等

貝類毒化モニタリング検査

漁業管理課からの委託を受け、年間計画に基づきヒオウギガイ、アサリ、カキ、イワガキ等について麻痺性貝毒の検査を17検体行った。

イ 家庭用品に関する業務

薬務室の行政検査として、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、市販の乳幼児用衣類おむつ、下着等に使用されているホルムアルデヒド及び有機スズの残留量検査を15検体について行った。

ウ 薬事に関する業務

GMP（医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準）調査要領に基づき、組織や品質マニュアル等を整備し公的認定検査機関として、平成25年3月25日認定を受けた。

エ 食品衛生検査施設における検査等の業務管理

（GLP：Good Laboratory Practice）

内部点検標準作業書（SOP：Standard Operating Procedure）に基づき、信頼性確保部門責任者による内部点検を実施している。

オ 外部精度管理

食品衛生外部精度管理事業として、食品薬品安全センター秦野研究所が実施している外部精度管理に参加し、食品添加物（ソルビン酸）、動物用医薬品（スルファジミジン）及び農薬6成分（チオベンカルブ、マラチオン、クロルピリホス、テルブホス、フルシトリネート、フルトラニル）中、3成分について精度管理を実施している。

表1 平成25年度業務実績（化学相当）

区 分		検 体 数	成 分 数
項 目			
総 件 数		617	59,970
◎行政検査			
食 品 衛 生	残 留 農 薬	30	5,650
	動 物 用 医 薬 品	99	6,825
	食 品 添 加 物	60	435
	ア レ ル ギ ー 物 質	30	30
	カ ビ 毒	0	0
	違 反 ・ 苦 情 食 品	27	27
	ス ク リ ー ニ ン グ	30	30
	計	276	12,997
薬 事 衛 生	0	0	
家 庭 用 品	15	45	
小 計		291	13,042
◎委託業務検査			
貝 毒 モ ニ タ リ ン グ （ 漁 業 管 理 課 ）		17	17
小 計		17	17
◎依頼検査			
食 品 衛 生		11	11
そ の 他	メ ラ ミ ン 等	0	0
小 計		11	11
◎調査研究			
残 留 農 薬 ・ 動 物 性 医 薬 品		128	12,800
危 機 管 理 対 策		1	300
食 品 添 加 物		0	0
精 度 管 理 ・ 妥 当 性 評 価 等		169	33,800
小 計		298	46,900

(3) 微生物担当

微生物担当の業務は、細菌、ウイルス、リケッチアおよび血清免疫学等に関する各分野の行政検査、委託業務検査、依頼検査、調査研究ならびに検査技術の研修・指導などである。

行政検査では、感染症、食中毒、収去食品等の検査、公共用水域や海水浴場等の水質検査、公衆浴場水等のレジオネラ属菌検査、特定性感染症（クラミジア、エイズ等）の検査および保健所からの依頼による検査を行っている。

委託業務検査では、厚生労働省の感染症流行予測事業、大分市（中核市）との委託契約に基づく食品

等の微生物学的検査および検疫所との委託契約に基づく検疫感染症検査を行っている。

依頼検査では、つつが虫病の血清学的検査などを行っている。

調査研究では、感染症・食中毒の動態及び疫学に関する研究や新しい検査方法の開発・導入に関する研究等に取り組んでおり、その一部は国や他の地方衛生研究所等との共同研究（分担研究、研究協力を含む）である。

研修・指導業務では、主に保健所の検査担当者を対象とした検査実技等の研修を行うとともに、「大分県試験検査精度管理事業実施要綱」に基づき微生物部門の精度管理を実施している。また、「大分県

衛生環境研究センター研修生取扱要綱」に基づき県内の臨床検査技師専門学校で臨地実習等を行っている。

このほか、県健康対策課内に設置している大分県感染症情報センターに関して、感染症情報の収集・解析・還元等の業務支援を行っている。

ア 感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき実施している大分県感染症発生動向調査事業における全数把握疾病では、2013年は結核295人、細菌性赤痢2人、腸管出血性大腸菌感染症27人、Q熱1人、つつが虫病7人、デング熱1人、マラリア1人、ライム病1人、レジオネラ症13人、アメーバ赤痢3人、ウイルス性肝炎1人、後天性免疫不全症候群8人、侵襲性肺炎球菌感染症4人、梅毒3人、破傷風4人および風しん31人の報告があった。

当所では同調査事業の一環として、検査定点で採取した臨床検体からの原因微生物検索を行っており、細菌関係は主に溶血レンサ球菌感染症及び感染性胃腸炎の検体を検査している。溶血レンサ球菌感染症では、2013年は115検体を検査し、82検体(70%)からA群77株、C群4株、G群菌1株の溶血レンサ球菌を分離した。A群菌のT型別では、T4型、T12型、T25型、T28型が多く分離された。感染性胃腸炎では、2013年は38検体を調べ、22検体(58%)から下痢起因細菌を検出した。その内訳はサルモネラ属菌13株、黄色ブドウ球菌5株、カンピロバクター2株、腸管出血性大腸菌1株、病原大腸菌1株であった。ウイルス関係は、インフルエンザ様疾患、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎等の患者材料(咽頭拭い液、脊髄液、糞便等)496検体を検査し、269件(54%)の病原ウイルスを検出した。検出ウイルスの内訳はコクサッキーウイルスA6型26件、エコーウイルス30件、25件、ライノウイルス26件、インフルエンザウイルスAH3亜型16件、ノロウイルスGII13件等であった。

感染症集団発生等に係る検査として、ウイルス性胃腸炎は2事例8検体を検査し、2検体からノロウイルスGII、3検体からサポウイルスを検出した。腸管出血性大腸菌については27件の患者発生報告があったが、集団感染疑い事例はなかった。

麻しんについては、平成22年7月22日付けの健康対策課長通知により、麻しんが疑われる患者全員のPCR検査を実施している。5検体について検査をし、

すべて麻しんウイルスは検出されなかった。

イ 食中毒

微生物による食中毒が疑われた検査は25事例で、そのうち細菌関係は12事例を検査し、3事例からナグビブリオ2件、毒素原性大腸菌1件を検出した。ウイルス関係は13事例を検査し、5事例からノロウイルスを、1事例からノロウイルスおよびサポウイルスを検出した。原因不明事例として5事例について寄生虫関係の検査をしたが、いずれも不明事例となった。このうちノロウイルス2事例、毒素原性大腸菌1事例、ナグビブリオ1事例の4事例が微生物を原因とする食中毒事件となった(大分市を除く)。

ウ 感染症流行予測事業

厚生労働省の感染症流行予測事業に基づき、県産豚の血液による日本脳炎の感染源調査を行った。HI抗体陽性率は8月23日に50%を超え、最初に抗体が上昇した時期は8月12日に採血された豚において認められた。日本脳炎ウイルスは、8月12日採血豚で2株分離された。

エ インフルエンザ

2013年4週(1/21-1/27)にピークに達した後、2013年22週(5/27-6/2)に終息する流行パターンを示した。2013/2014シーズンは第49週(12/2-12/8)から報告が増加し始めた。2013年1月からの2013年12月までのウイルス検出状況はAH3型60件、B型12件で、2014年1月から3月までのウイルス検出状況はAH1型10件、AH3型8件、B型10件であった。

オ 食品検査

大分県食品衛生監視機動班等が収去した食品139検体について、食中毒起因菌及び抗生物質、二枚貝のノロウイルス等を検査した。食用肉では80検体中、黄色ブドウ球菌が10件、サルモネラ属菌が8件、カンピロバクターが2件、腸管出血性大腸菌が1件、検出された。県産ミネラルウォーターは20検体について検査をし、1検体からレジオネラ属菌が検出され、7検体から一般細菌が検出された。うち6検体は飲用不適となる100cfu/ml以上の菌数が検出された。生食用二枚貝は10検体検査し、ノロウイルスは検出されなかった。

カ 水の検査

水質汚濁防止法等に基づいて公共用水域、海水浴場、公衆浴場等の微生物検査を実施している。2013年度の総件数は418検体で、公共用水域の検査がその大部分を占めている。公衆浴場のレジオネラ属菌は54検体を検査した。54検体中30検体（56％）からレジオネラ属菌が検出された。内訳は「掛け流し施設」では浴槽水19検体中14検体（74％）、湯口水17検体中7検体（41％）で、「循環式施設」では浴槽水10検体中4検体（40％）、湯口水8検体中5検体（62％）であった。

キ 血清学的検査

（ア）リケッチアに対する抗体検査

本県におけるつつが虫病患者は例年10月から11月を中心に発生しているが、2013年度は疑い患者の血清8検体について検査依頼があり、2検体が有意の抗体上昇を示して、つつが虫病と診断された。

（イ）HIV抗体等の検査

「大分県HIV抗体検査実施要領」に基づくHIV抗

体の確定検査等を4検体実施し、3検体が陽性であった。また、「大分県B型肝炎感染防止対策実施要綱」による保健所職員等のHBs抗原・抗体について、114検体228成分の検査を実施した。2007年度からクラミジアとHCVの検査を大分県特定感染症検査事業として実施しているが、2013年度はクラミジア173件の検査を行った。

ク 調査研究

細菌関係では、「大分県食品衛生指導基準の見直し検討に係る基礎的細菌調査」等3題の調査研究に取り組んだ。ウイルス・リケッチア関係では、「県内マダニのSFTSウイルス保有状況調査」等3題の研究課題に取り組んだ。

ケ 研修指導

保健所や食肉衛生検査所の検査担当者を主体に、検査業務に関する実技研修や精度管理を実施した。また、臨床検査技師専門学校での臨地実習を行った。

表2 平成25年度業務実績（微生物担当）

区 分	検 体 数	成 分 数
項 目		
総 件 数	4,180	12,246
◎行政検査		
（病原体分離・同定・検出）		
感染症	894	5,426
食中毒	210	1,222
食品	154	542
水質検査	418	594
その他（血液製剤無菌試験）	0	0
（血清検査）		
エイズ	2	8
B型肝炎	258	258
その他（C型肝炎、結核）	0	0
小 計	1,936	8,050
◎委託業務検査		
感染症流行予測調査	160	160
食中毒・食品・血清等（大分市）	4	18
小 計	164	178
◎依頼検査		
（病原体分離・同定・検出）		
飲用水	0	0
（血清検査）		
つつが虫病	8	80
小 計	8	80
◎調査研究		
共同研究	1,153	2,122
感染症疫学調査研究	675	737
食中毒病原体調査研究	170	860
検査法開発導入調査研究	74	219
小 計	2,072	3,938

(4) 大気・特定化学物質担当

大気・特定化学物質担当は、大気汚染や特定化学物質、悪臭等の環境保全対策に資するため、法律等に基づく行政検査、委託検査業務並びに調査研究業務を主たる業務としている。

ア 行政検査

(ア) 大気汚染の常時監視

大気汚染防止法に基づき、昭和46年度からテレメータシステムで監視を行っている。平成25年度は、大気汚染状況の常時監視を7市1町の8か所においてオンラインシステムで二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント及び風向・風速を測定している。

なお、微小粒子状物質の測定を平成25年2月から西部振興局で4月から中津総合庁舎及び南部振興局で開始した。

(イ) 交通環境・一般環境の大気測定調査

常時監視測定局が設置されていない道路沿道などの地域の大気汚染物質濃度（二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、光化学オキシダント）の実態を把握するためおこなっている。

(ウ) 有害大気汚染物質調査

大気汚染防止法に基づき、平成9年度から一般環境等における揮発性有機化合物（VOC）等の有害大気汚染物質についてモニタリング調査を行っている。平成25年度は、行政検査により5市の一般環境等において最大15項目の調査を行った。

(エ) 浮遊粉じん調査

浮遊粉じんによる大気の汚染状況を把握するため、平成25年度は、行政検査により重金属成分等の調査を1市の固定発生源周辺で行った。

(オ) 特定化学物質調査

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、平成12年度から環境大気、公共用水域水質（河川、海域及び湖沼）、底質（河川、海域及び湖沼）、地下水及び土壌中のダイオキシン類の分析を行っている。平成25年度は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく行政検査によるものが41検体であった。

(カ) 悪臭物質等調査

悪臭等防止対策の資料とするため、平成25年度は、旧産業廃棄物最終処分場1カ所におけるアンモニア、硫黄化合物等の調査を行った。

(キ) 環境放射能調査

県外から搬入される産業廃棄物の性状を調査するため、放射性物質等の検査を行った。

また、県内の海水浴場における放射性物質の調査を行った。

イ 委託検査業務

(ア) 国設酸性雨測定所の管理運営

酸性雨による大気汚染の実態を把握するため、環境省の委託を受け、平成6年度から、竹田市久住町の阿蘇くじゅう国立公園の区域内に設置された国設酸性雨測定所の管理運営を行っている。平成25年度も引き続き、同所における気象データの収集を行うと共に雨水のpH、電気伝導率（EC）測定と成分分析を行った。

(イ) 環境放射能調査

放射能のバックグラウンドを測定し、環境放射能の水準を把握するため、原子力規制庁の委託を受け、昭和62年度から調査を行っている。平成25年度も引き続き、定時降水中のβ線や、モニタリングポストにより空間放射線量率の測定を行うとともに、大気浮遊じん、降下物、土壌、野菜、牛乳等のγ線を測定し、環境中に存在する放射性核種の調査を行った。

ウ 調査研究

(ア) 酸性雨調査

平成3年度から全国環境研協議会の酸性雨全国調査に参加している。

また、県内における酸性雨の実態と推移を把握することを目的として、大分市、日田市、竹田市久住町において昭和60年度から継続的に調査を行っている。

(イ) 由布地域の環境大気特性について

由布地域において大気環境測定車による調査を実施したところ、他の常時監視測定局と比べ光化学オキシダント濃度が高い値を示しており、この原因調査を行った。

表3 平成25年度業務実績（大気・特定化学物質担当）

項目	区分	検体数	成分数
総件数		742	20,871
◎行政検査			
大気汚染常時監視		96	15,536
交通環境・一般環境調査		5	36
有害大気汚染物質調査		120	737
浮遊粉じん調査		12	60
ダイオキシン類調査		41	1,599
悪臭物質等調査		2	44
環境放射能調査		34	102
その他		4	45
小計		314	18,159
◎委託業務検査			
酸性雨調査（環境省）		49	484
環境放射能調査（原子力規制庁）		171	273
環境化学物質調査（環境省）		1	1
小計		221	758
◎依頼検査			
小計		0	0
◎調査研究			
酸性雨調査		207	1,954
小計		207	1,954

(5) 水質担当

水質担当は、水質汚濁防止法、廃棄物及び清掃に関する法律、温泉法に基づく行政検査、委託業務検査、依頼検査並びに調査研究を主たる業務としている。

ア 行政検査

(ア) 測定計画による調査（公共用水域及び地下水の水質調査）

公共用水域の水質測定は、昭和46年度から水質汚濁防止法に定める測定計画に基づいて実施している。平成25年度は県担当分の39河川58地点、2湖沼6地点において生活環境項目（8項目）、健康項目（26項目）、要監視項目（24項目）、水生生物保全

項目（4項目）、特定項目（1項目）、特殊項目（2項目）及びその他項目（8項目）について年2～12回の測定を行った。

また、地下水の水質測定は、測定計画に基づき県担当分の64井戸において環境基準項目（27項目）、要監視項目（23項目）及びその他項目（7項目）について年1～2回の測定を行った。

(イ) 海水浴場水質調査

県下の主要海水浴場（年間利用者数が、おおむね1万人以上）の水質の現況を把握するとともに、その結果を公表して住民の利用に資することを目的として、昭和47年度から実施している。

平成25年度は4箇所について、微生物担当、大気・特定化学物質担当及び東部保健所と分担し、遊泳期

間前2回、遊泳期間中1回調査を実施した。

(ウ) 工場・事業場排水監視調査

水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく規制対象工場・事業場の排水監視のため、水質測定を行っている。

平成25年度は、生活環境項目、健康項目等について、延べ211箇所の事業場排水について、223検体、1,241成分の水質測定を行った。

(エ) 廃棄物処理施設等維持管理状況等調査

廃棄物及び清掃に関する法律に基づき県が指導・監督を行っている産業廃棄物処分場等の維持管理指導のため、水質測定を行っている。

平成25年度は、金属等の有害物質を中心に排出される放流水、浸透水及び地下水等について、158検体、2,644成分の水質測定を行った。

(オ) 温泉資源監視基礎調査

平成13年度から、温泉資源の現状を把握し、実施してきた保護対策の効果を見守るために県が実施している温泉資源監視基礎調査事業に基づき、実施している。

平成25年度は、温泉資源を保護するために指定した保護地域等において13地点（大分市3、別府市4、日田市1、竹田市1、由布市3、九重町1）の泉源において、年1回、泉温、遊離二酸化炭素等の現地試験や試験室において密度、ナトリウム等の化学成分の試験を13検体、延べ547成分にわたり行った。

(カ) その他

測定計画外の公共用水域・地下水の水質調査や土壌汚染対策にかかる調査等の分析を86検体、延べ475成分の検査を行った。

イ 委託業務検査

(ア) 瀬戸内海広域総合水質調査

瀬戸内海全域にわたって、ほぼ同時期に調査を行い瀬戸内海の水質状況を的確に把握するための調査で、環境省の委託を受け、昭和47年度から調査を行っている。

平成25年度は春季、夏季、秋季、冬季の年4回、15地点の表層水、底層水を現地船上において採水、水温等の測定、試験室において生活環境項目、クロロフィル-a、栄養塩類等を延べ116検体、2,156成

分の検査を行った。

(イ) 化学物質環境実態調査

環境リスクが懸念される化学物質について、特定化学物質の環境中への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律の指定化学物質の指定、その他化学物質による環境リスクに係る施策について検討する際の暴露の可能性について判断するための基礎資料等とするための調査で環境省の委託を受け、平成2年度から調査を行っている。

平成25年度は秋季（11月）1回、大分川河口域の船上で採水、採泥及び水温の現場測定等を行った。また、水中の化学的酸素消費量等の一般項目を1検体10成分、底泥中の硫化物濃度等を3検体39成分、魚類の前処理及び脂質重量等を3検体12成分測定した。

なお、化学物質の分析は、環境省委託分析機関で実施した。

ウ 依頼検査

(ア) 温泉分析

平成25年度は、一般からの依頼により6検体252成分の鉱泉分析試験（中分析試験）を行った。

表4 平成25年度業務実績（水質担当）

区 分		検 体 数	成 分 数
項 目			
総 件 数		1,243	16,002
◎行政検査			
測定計画による調査		580	8,518
海水浴場調査		54	108
事業場監視調査		223	1,241
産業廃棄物処理施設等維持管理等調査		158	2,644
温泉分析	中分析試験	13	547
	うち飲用試験	(0)	(0)
	可燃性ガス測定	0	0
その他		46	380
小 計		1,074	13,438
◎委託業務検査			
瀬戸内海広域総合水質調査		116	2,156
化学物質環境実態調査		7	61
小 計		123	2,217
◎依頼検査			
温泉分析	中分析試験	6	252
	うち飲用試験	(0)	(0)
	可燃性ガス測定	0	0
その他		40	95
小 計		46	347
◎調査研究			
		0	0
小 計		0	0

8

研修状況

(1) 研修生の受入状況

研修名	所属	研修生	期間	研修者数	担当
インフルエンザ検査（AH7型）研修	大分市保健所	末永 睦美 上杉 美穂	H25. 5. 17	2	微生物
環境学習	大分県立大分上野丘高校	教員2名 学生35名	H25. 5. 31	37	化学、微生物
新任食監、環監、検査員研修会	南部保健所等	新任食監等	H25. 6. 10～ 6. 11	11	化学、微生物
微生物検査研修会	食肉衛生検査所	甲斐 雅裕	H25. 6. 10～ 6. 14	1	微生物
専門学校生研修	大分臨床検査技師専門学校	川野 萌香	H25. 8. 1～ 8. 29	1	微生物
微生物研修	日本文理大学医療専門学校	大島由香里	H25. 8. 14～ 8. 16	1	微生物
大分県公衆衛生獣医師インターンシップ	北里大学獣医学部獣医学科 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科	長野 孝奎 海野友理絵	H25. 8. 23	2	微生物
大分県公衆衛生獣医師インターンシップ	山口大学農学部獣医学科	山崎 窓	H25. 8. 30	1	微生物
職場体験	大分市立判田中学校	原田 瑞穂 大戸菜々美 深田 春菜	H25. 9. 5～ 9. 6	3	化学、微生物、 大気・特定化学 物質、水質
職場体験	大分市立王子中学校	3名	H25. 9. 12	3	化学、微生物、 大気・特定化学 物質、水質
アレルギー物質検査研修会	豊肥保健所	佐藤 萌	H25. 10. 16	1	化学
クドア研修	福岡市西区保健福祉センター	松本 弘子 鶴田小百合	H25. 11. 20	2	微生物
マラチオン分析法	大分市保健所	村谷・田辺	H26. 1. 8	2	化学
食品衛生監視機動班研修会（微生物）、及び食品検査担当職員研修会	豊肥保健所検査課ほか	森 弥生ほか	H26. 1. 20～24	4	微生物
食肉中の動物用医薬品分析研修	南部保健所	溝腰 朗人	H26. 1. 21～ 1. 23	1	化学
食肉中の動物用医薬品分析研修	豊肥保健所	佐藤 萌	H26. 3. 4～ 3. 6	1	化学

(2) 研修生派遣状況

研修内容	派遣先	派遣職員		期間
		所属	氏名	
光化学オキシダント自動計測器校正研修	福岡県保健環境研究所	大気・特定化学物質担当	松田 貴志	H25. 4. 12
アジレント新製品GC,GC/MSD発表セミナー	iichiko総合文化センター	化学担当 大気・特定化学物質担当 水質担当	衛藤加奈子 林由美子 橋口尚敬 高橋真紀 長野大悟 安東貴志 松田英子 岡本豊信 伊藤弘樹 首藤	H25. 4. 12
大分大学ワークショップ（日本分析化学会・機器分析）	大分大学	化学担当 大気・特定化学物質担当	衛藤加奈子 林由美子 橋口尚敬 高橋真紀 二宮久生 入江貴志 松田	H25. 5. 23
GC-MSカスタムトレーニングコース（オペレーション基礎）	新川電機(株)分析カスタマセンター	大気・特定化学物質担当	松田 貴志	H25. 5. 28～ 5. 30
GC-MSカスタムトレーニングコース（メンテナンス基礎）	新川電機(株)分析カスタマセンター	大気・特定化学物質担当	松田 貴志	H25. 5. 31
機器分析研修（Aコース）	環境省環境調査研修所	化学担当 大気・特定化学物質担当 水質担当	橋口 祥子 安東 大悟 伊藤 豊信	H25. 6. 13～ 6. 28
病原体システム研究会	福岡県保健環境研究所	微生物担当	田中 幸代	H25. 6. 25～ 6. 26
光化学オキシダント自動計測器校正研修	福岡県保健環境研究所	大気・特定化学物質担当	松田 貴志	H25. 6. 28
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)元素分析セミナー2013	博多バスターミナル9階サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	水質担当	山崎 信之	H25. 7. 25
pH計基礎とトラブル対応	県産業科学技術センター	化学担当 大気・特定化学物質担当 水質担当	衛藤加奈子 林由美子 橋口尚敬 高橋真紀 二宮久生 入江貴志 松田千晴 中村弘樹 首藤	H25. 8. 2
信頼性確保部門研修会	厚生労働省	化学担当 微生物担当	長谷川昭生 小河正雄	H25. 8. 28
ゲルマニウム半導体検出器による測定法	(公財)日本分析センター	大気・特定化学物質担当	岡本 英子	H25. 9. 24～10. 2
地方感染症情報センター担当者向けブロック疫学研修会	鹿児島市中央公民館	微生物担当	加藤 聖紀	H25. 9. 30
蛍光色素を使った二次汚染の体感実験研修会	センター内	化学担当	衛藤加奈子 橋口祥子 高橋尚敬 二宮	H25. 9. 25
クレーム・トラブル対策のための異物サンプリングと解析の実習セミナー	県産業科学技術センター	化学担当	衛藤加奈子 林由美子 橋口祥子 高橋尚敬 二宮	H25. 10. 3
新興再興感染症技術研修会（麻疹・風疹ウイルス検査）	国立感染症研究所村山庁舎	微生物担当	田中 幸代	H25. 10. 7～10. 11

研修内容	派遣先	派遣職員		期間
		所属	氏名	
食の安全に係る研修会	センター内	化学担当	化学担当7他	H25.10.25
収去の実際(食監-研究員交流研修)	豊肥保健所	化学担当	林 由美 高橋 尚敬	H25.11.18
平成25年度環境大気常時監視技術講習会	三宮研修センター	大気・特定化学物質担当	安東 大悟	H25.11.18~11.19
全国疫学情報ネットワーク構築会議	東京都健康安全研究センター	微生物担当	本田 顕子	H25.11.19
「アウトブレイク食中毒事例に学ぶ」研修会	センター内	化学担当	衛藤加奈子 林 由美 橋口 祥子 高橋 尚敬 二宮 健	H25.11.22
ダイオキシン類環境モニタリング研修(基礎課程)	環境省環境調査研修所	大気・特定化学物質担当	岡本 英子	H25.11.25~12.13
地方衛生研究所地域専門家会議(SFTS検査)	鹿児島県環境保健センター	微生物担当	加藤 聖紀	H25.11.28~11.29
水質分析研修(Aコース)	環境省環境調査研修所	水質担当	首藤 弘樹	H25.11.28~12.13
指定薬物分析・鑑定に関する研修	国立医薬品食品衛生研究所	化学担当	高橋 尚敬	H25.11.29
収去の実際(食監-研究員交流研修)	北部保健所	化学担当	橋口 祥子 二宮 健	H25.12.2
㈱島津製作所HPLC入門講習会	㈱島津テクノロジー	大気・特定化学物質担当	安東 大悟	H25.12.19~12.20
ガンマ線スペクトロメトリー概論(第1回)	(公財)日本分析センター	大気・特定化学物質担当	安東 大悟	H26.1.15~1.17
特定機器分析研修Ⅱ	環境省環境調査研修所	化学担当	橋口 祥子	H26.1.20~31
HPLCスクール コースⅢ	㈱島津製作所 九州支店	化学担当	衛藤加奈子	H26.1.24
残留農薬分析国際交流会セミナー	東京家政大学	化学担当	二宮 健	H26.2.12
大気分析研修(Bコース)	環境省環境調査研修所	大気・特定化学物質担当	松田 貴志	H26.2.13~2.28
希少感染症診断技術研修会	国立感染症研究所	微生物担当	成松 浩志 田中 幸代	H26.2.20~21
緊急時におけるガンマ線スペクトル解析	(公財)日本分析センター	大気・特定化学物質担当	長野 真紀	H26.2.20~2.21
平成25年度生活衛生関係技術担当者研修会	厚生労働省	微生物担当	緒方喜久代	H26.3.5
LCとMSの基礎と分析例	㈱エービー・サイエックス	化学担当	二宮 健	H26.3.11